

資料

岩国市工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

岩国市工業用水道は、岩国市の工業都市としての立地条件を一層促進する目的から、通津地区海岸部を埋め立て、工場敷地を造成し企業等が誘致され、安定した工業用水を供給する必要が生じ計画策定されたものである。

○事業の経緯

昭和40年代に入り岩国市の産業誘致政策の一環として、本市南部通津地区の海面を埋め立てて、工場敷地を造成することになり、旭化成(株)をはじめ数社の進出が決定していた。

これらの工場に工業用水を給水するため、工業用水道布設事業として昭和45年10月に着工、昭和49年3月に完成し、同年10月より旭化成(株)、旧モラルコ(株)(現アルマティス(株))の二つの企業に給水を開始した。

その後、岩国市三角町三丁目地内の岩国市第二工場より工業用水道の給水申し込みがあり、第一次拡張事業として配水池から門前町三丁目7の国道手前までの配水管布設工事を水道局発注で昭和52年3月に完成した。また、門前町三丁目の国道から三角町三丁目の同工場までの配水管を岩国市の発注で昭和54年3月に完成し、同年4月より給水を開始した。以降、中国電力(株)をはじめとして数社に給水し現在では12企業・工場となっている。

平成10年6月、上水道事業の水利権変更に伴い工業用水道事業の水利権も30,070m³から28,570m³に変更した。また、平成12年8月から老朽化した工業用水道ポンプ室の取水施設整備事業に着手し、平成14年2月に完成した。

○工業用水道施設の概要

岩国市工業用水道事業は、錦川の伏流水を取水し、取水ポンプ所からφ600mmの送水管で配水池へ送水し、φ600mmの配水管で自然流下により通津沖工業団地へ配水している。

送水管は2.697kmの延長となっており、配水管は14.338kmの延長となっている。

○ユーザーの概要

(平成19年3月末現在)

業 種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
製 造	2	11,808
化 学	1	100
電 力	1	2,000
鉄 工	1	100
建 設	2	150
パルプ・紙	1	6,000
発電事業	1	1,100
官公庁	3	4,000
計	12	25,258

○事業の特徴

錦川の伏流水を取水しているため、水質的に安定しており、年間を通して安定給水を行うことが可能。

○岩国市水道局のホームページアドレス

<http://www.waterworks-iwakuni.jp/>

